

今井ゼミ(中国研究)の紹介

担当教員 今井 宏 (IMAI KO)

☆研究テーマ

現代中国政治・外交、日中関係がメインですが、経済や社会、文化から思想、歴史まで幅広いテーマ選択も可能。また台湾や香港などの研究もOKです。

☆自己紹介

大学卒業後、北海道新聞社に入社し、2014年2月末に退職するまでほぼ38年間、主に外勤記者として勤務。新聞社では経済と国際報道分野が長く、社説などを書く論説委員(国際問題)も担当しました。

大学に入学した1972年が日中国交正常化の年だったので、第2外国語に中国語を履修したのが中国との縁の始まり。ただ、当時は文革末期。初訪中は80年暮れでした。

中国駐在経験は

1983～84年 中国・武漢大学に留学

98～2001年 北海道新聞北京支局長

中国の変化はとても速いので、その後もできるだけ毎年、中国や中華圏を訪れるようにしています。

☆学生の皆さんへ

書店に行けばずらり「嫌中本」が並び、メディアでも中国脅威論・異質論が跋扈しています。

でも、これから世界、アジアを股に掛けるグローバル人材なら中国あるいは中国人と付き合いずには済まずことは、たぶん難しいでしょう。

好き嫌いは別として、彼らの考え方をすることは大切です。

彼を知り己を知れば百戦殆うからず(知彼知己、百戦不殆)」

と孫子も言っています。

台北・台湾総統府の孫文像前で=2016年3月



ゼミ配属の要件	私の授業の履修者が望ましい
配属学生への希望	(1) 中国に対し強い関心を持っていること (2) 中国語をある程度理解できることが望ましい